

2024
MIYAGI
RECRUIT
GUIDE

宮城県職員ガイド



宮城県職員募集2024

研究員 (農芸化学系)

業務紹介

◆ 概要

企業からの技術相談への対応、機器分析等の支援

◆ 勤務先

産業技術総合センター



自己紹介

- ◆ 出身 : 宮城県古川市 (現 大崎市)
- ◆ 入庁までの経歴 : H16.3 県外大学大学院 修了
H16.4 入庁

入庁後の異動歴 (現在入庁21年目)

H16.4～ **産業技術総合センター 食品バイオ技術部**

食品分野に関する研究、企業支援

H25.4～ **産業技術総合センター 企画・事業推進部**

産学連携に関すること、技術支援事業に関すること など

H27.4～ **経済商工観光部 新産業振興課 産学連携推進班 (行政職)**

産学連携による研究開発・技術支援に関すること

H29.4～ **産業技術総合センター 企画・事業推進部**

研究に関連する契約、評価に関すること など

H30.4～ **産業技術総合センター 食品バイオ技術部**

食品分野に関する研究、企業支援

志望動機

◆ なぜ宮城県庁職員？

- ・ 公務員は安定しているというイメージがあり、宮城県が出身地であることから。
- ・ 学生時代の専攻を生かせる研究開発を仕事にしたかった
- ・ 人の役に立つことがしたい（せっかくなら地元に貢献したい)

これまでに担当した業務の紹介

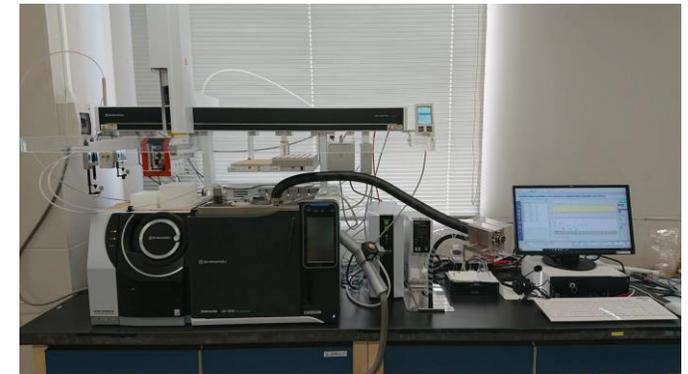
産業技術総合センター 食品バイオ技術部

- ・食品関連分野の研究開発

仙台味噌の製造プロセスに関すること、米粉の評価に関すること など

- ・分析機器を用いた企業支援

アミノ酸や糖などの成分分析（液体クロマトグラフ）、香気分析（ガスクロマトグラフ） など



経済商工観光部 新産業振興課 産学連携推進班

- ・次世代放射光施設（NanoTerasu）の誘致

- ・新素材（CNF）の普及、利用促進

- ・その他産学連携に関すること

入庁前のイメージとのギャップ

◆ 入庁前のイメージ

- ・毎日黙々と目の前の仕事をこなす（ルーチンワーク？）

◆ 入庁してみたら・・・

- ・企業の方や、大学の先生と話す機会が多くある
- ・分析以外に、企業と企業、大学と企業をつなぐ仕事もある（こちらの方が意外と楽しい？）

仕事をする上で心がけていること

◆ 困ったこと、分からないことはすぐ相談。

- ・自分が持つ知識の範囲は意外と狭い。周りに相談することで、新しい発見やアイデアにつながることも。
- ・「分かったつもり・知っているつもり」は「分からない・知らない」よりも×。

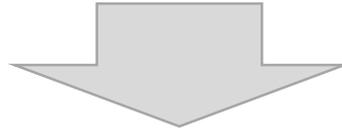
◆ 確認してから進む。

- ・（相談では）相手の目的や期待を確認しながら話を聞く
- ・（研究開発では）今進めているのは研究のどの部分なのか、予定からはずれていないかをチェックする（してもらう）

印象に残っている業務

みやぎの未来を、クリエイト。

- 製品開発の支援をしたものが商品化まで至り、店に並んでいるのを手にした時、達成感が得られたこと
- 従事していた研究テーマの成果について講演を依頼され、役に立っていることを実感できたこと



自分が関わったことが商品化などにより実際に形になり、広く知られることで、自信につながり、やりがいを感じられる

職場の雰囲気

- 上司や先輩がよく声をかけてくれるので、すぐ馴染める。
- 相談ごとがあった場合、みんなしっかりと話を聞いてくれる。さらに、得意分野（専門分野）が違う人の集団なので、意外な解決策が出てくる。

宮城県職員の魅力

- ・自動車産業、半導体関連産業などの誘致企業が多く立地
- ・食品関連産業も農産物から水産物まで幅広い
- ・宮城県はまだまだ発展する可能性があり、その一端を担うことができる

私の公務員試験対策

- 専門科目の試験があるため、一般教養以外も専門科目の対策が必要
- 面接はぶっつけ本番にならないよう、雰囲気慣れる。

先輩職員からのメッセージ

- ・企業の製品開発に直接的にかかわる仕事ができる数少ない職種。
- ・企業などからの相談は様々で難しいこともあるが、それに対応することで自分自身の成長を感じることができる。